



田代地区献茶祭

4月9日に錦江町たしろ茶業振興会主催による平成27年産茶「献茶祭」が、国道448号線沿いにある「銘茶の道を拓く」記念碑の前で行われました。

生産者、茶工場関係者、行政、農協等の関係機関が参加し、高値取引と作業の安全を願い、玉串をささげました。

関係者からは「今年は、霜害や風による傷みも少なく順調に生育した、山間部の香りの良いお茶を消費者に楽しんで欲しいです。」と期待を込められていました。

一番茶の作業は5月上旬頃まで続きます。

関西かごしまファンデー

4月19日に京セラドーム(大阪市)で関西かごしまファンデーが開催されました。

このイベントは、県内全市町村の特産品などを販売、PRするもので、今年で11回を迎えました。

当日は、天気も良く多くの方が来場されました。

錦江町からは、けせん団子・あくまき・マルボーロ・ひとくちげたんは・さつまあげ・ヒラマサなどを販売し、午前中には全て完売しました。

錦江町出身の方からは、「故郷の味が懐かしく、嬉しかったので、今後もこのイベントを続けて欲しいです。」と嬉しいお声を頂きました。



川西・川東長寿会

4月27日に田代畜産センターで川西・川東長寿会総会が開催されました。

その折、錦江警察署員で構成される劇団員による寸劇が披露されました。

総会後に行われる交流会ではお酒がふるまわれるため、飲む側もふるまう側も飲酒運転をした場合同罪になることを分かりやすく表現しました。

また空き巣対策については、玄関を閉めても縁側などカギをしていない箇所がある実態を解説していただきました。「笑う門には福来る。」と申しますが、このように長寿会で共に集い笑うことが、いかに健康でいられるか少し分かったような気がしました。

鹿児島純心女子短期大学との田植え

4月11日、田代川原猪鹿地区で、鹿児島純心女子短期大学と包括的連携協定事業の一環で今年も田植えをしました。

昨年も収穫した餅米「純心米」をもとに、でんふく餅(大福)を共同開発しましたが、今年は普通米を使った新商品開発し、錦江町の特産品として各種イベント等で出品していく予定です。

